

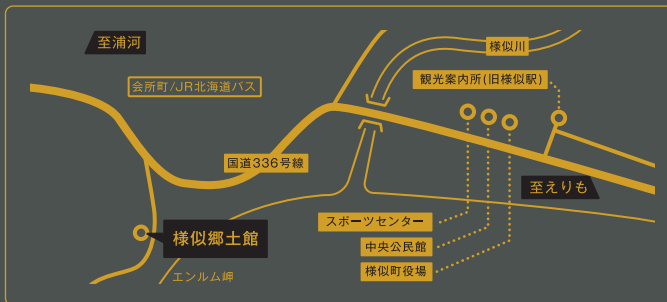
1635	寛永12	西様似海辺川の支流で金鉱を発見 幕府により採掘(東金山金鉱)
1669	寛文9	シャクシャインの戦いにより金山閉鎖
1799	寛政11	様似山道(約7km)完成 エンルムに会所 設置
1800	寛政12	「砂馬荷造船所」設置
1802	享和2	様似が蝦夷奉行の管下となり この年を様似の開基とした
1806	文化3	等澍院徳川幕府により建立
1811	文化8	等澍院護摩堂 竣工
1857	安政4	様似神社(住吉神社) 建立
1869	明治2	シャマニ会所 廃止
1885	明治18	等澍院 廃寺
1897	明治30	等澍院 再興
1937	昭和12	日高本線 様似まで全線開通
1952	昭和27	町制施行(村から町になる) アボイ高山植物群落が国の特別天然記念物 に指定される
1965	昭和40	等澍院護摩堂を町の重要文化財第一号に指定
1967	昭和42	様似郷土館 開館
1971	昭和46	第一回アボイの火まつり開催
1975	昭和50	ヒメチャマダラセセリ(蝶)国の天然記念物に指定
1981	昭和56	日高山脈襟裳国定公園指定
1994	平成6	アイヌ古式舞踊(様似民族文化保存会)が 国指定重要無形民俗文化財に(追加)指定
2005	平成17	等澍院古文書ほか蝦夷三官寺資料を 国の重要文化財に指定
2008	平成20	アボイ岳ジオパーク日本ジオパークに認定
2015	平成27	アボイ岳ジオパーク世界ジオパークに認定
2018	平成30	様似山道が国指定史跡に指定 蝦夷三官寺が北海道遺産に選定
2021	令和3	JR日高線鉄道事業(鶴川～様似)廃止
2024	令和6	日高山脈襟裳十勝国立公園に指定



様似町の歴史

様似郷土館

SAMANI Folk Museum



開 館 1967 昭和42

入 館 料 無料

開館時間 10:00-16:30

休 館 日 毎週月曜日 / 祝日の翌日 / 年末年始



CONTACT

様似郷土館

〒058-0024 北海道様似郡様似町会所町1番地

TEL/FAX 0146-36-3335

E-mail samanikyoudokan@future.ocn.ne.jp

様似町教育委員会

〒058-8501 北海道様似郡様似町大通1丁目21番地

TEL 0146-36-2521

FAX 0146-36-4210



SAMANI
Folk
Museum

様似郷土館



文化財

様似町の

国指定

- 重要無形民俗文化財 アイヌ古式舞踊
- 重要文化財 蝦夷三官寺等澗院関係資料
- 史跡 様似山道
- 特別天然記念物 アポイ岳高山植物群落
- 天然記念物 ヒメチャマダラセセリ
- 天然記念物 幌満ゴヨウマツ自生地

町指定

- 有形文化財 等澗院護摩堂
- 有形文化財 和助地藏尊
- 有形文化財 聖観世音菩薩像
- 有形文化財 薬師如来三尊仏像
- 有形文化財 弁財天像
- 有形文化財 南無仏太子像
- 有形文化財 等澗院古文書
- 有形文化財 矢本家文書
- 有形文化財 冬島遺跡出土資料
- 有形文化財 シヤマニ場所絵図面
- 有形文化財 様似軌道関係資料
- 史跡 様似山道



重要文化財 / 百万遍念珠箱



町指定文化財 / 薬師如来三尊仏像

埋蔵文化財

二十九の遺跡

北海道遺産

蝦夷三官寺
未来に伝える
アイヌと和人の
関係史

- 有珠善光寺
- 様似等澗院
- 厚岸国泰寺

古文書でみる様似 | Historical Documents of Samani

古文書

1806年には、蝦夷三官寺の1つである等澗院が建立されました。様似町・厚岸町・伊達市の3カ所に作られた蝦夷三官寺(さんかんじ)は、蝦夷地の和人の信仰の拠点であり、死亡した和人の葬儀とアイヌ民族への仏教布教を目的とし、背景には対ロシア政策として幕府による蝦夷地支配を示す狙いがありました。寺録(官費)によって維持管理された寺院でした。しかし明治には、「寺録通減法」に伴い維持管理が不能となり廃寺になりましたが、復興を願う信徒の要請もあり再興された北海道の古刹です。

等澗院古文書は、開祖初代住職(秀暁)から11世住職(徳弁)に至るまでの江戸歴代住職が幕府や他寺とのやりとりを記録したもので幕府の公文書や建立の経緯が記されています。



等澗院

重要文化財 / 等澗院古文書

町指定有形文化財

矢本家文書
やもとけもんじょ

様似会所支配人代理だった矢本蔵五郎は、明治政府の依頼で会所廃止後も会所に留まり物資の取引や旅籠屋、徴税なども行いました。その後、会所建物の払い下げを受け幅広く商売を始め、様似の暮らしを支えました。当時、冷遇されていたアイヌの人たちにも温情な態度で接し、全員に苗字をつけてあげるなど、和人格の取引を実施しました。「矢本家古文書」は、当時の記録と会所の経緯などが記された貴重な文献で北海道唯一と言われています。



町指定文化財 / 矢本家文書

地図でみる昔の様似 | Map of Samani

地図

福山(現・松前町)から様似に移住した佐藤家に残された貴重な資料。松前福山城の家老・勝田伊賀守に献上するために文久元年(1861年)に作られた様似会所絵図でしたが、献上する機会がなく、手元に残されていました。

海岸線の地形、親子岩などの奇岩やエンルム岬など現在と変わらない様似の風景が伺えます。海岸線には地名や川名が記載され、現在の様似の地名と一致するものも多くなります。様似山道は赤い破線で描かれています。



東蝦夷シヤマニ之景

19世紀半ば(近世後期)の様似町の西町地区から会所町にかけてを描いた絵図です。

移転をしたのちの等澗院が描かれており、文政4年(1821年)以降の様子が描かれたものと思われます。また、東蝦夷地に最初に作られた10会所のひとつである、シヤマニ会所が描かれています。エンルム岬の左には船と鉞(まさかり)や手斧をふるっている2人の職人が描かれています。かつてこの地には仮造船所もあり、江戸時代から明治時代にかけて活躍した、大阪と北海道とを結ぶ寄港地で商品を売り買いした弁財船も造られていたそうです。



町指定有形文化財
シヤマニ場所絵図面

